

## 重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

### 基本目標2 子育て世代に選ばれるまちづくり

#### （1）結婚・妊娠期からの切れ目ない支援

施策	施策の概要	重要業績評価指標（KPI）					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
		指標名	当初値 (H26)	H27実績	現状値 (H28実績)	目標値 (H31)			
18 各種健診事業	母子保健法による乳幼児健診（1歳6か月児・3歳児）を集団健診にて実施。特定健康診査対象者へ個人通知を行い、医療機関（個別健診）および集団健診にて実施。	1歳6か月児健康診査受診率	95.2%	92.1%	100.8%	97%	けんこう課	平成27年度より、1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の未受診者に対し、文書での受診勧奨に加え、電話連絡を行うようにした。 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の受診者は、前年度未受診者を含むため、受診率が100%を超えている。 特定健康診査は、6月～8月、11月に実施。この期間の未受診者に対しては、2月～3月に集団検診を設け、受診勧奨を行う。	今後も未受診者に対し、同様の受診勧奨を続ける。また、都合により健診を受診できない幼児に対して、こども課と連携し、状況確認を行っていく。 平成28年度より、人間ドック自己負担額助成制度を導入。特定健康診査を含め、健康診査を受診しやすい体制づくりに努めている。
		3歳児健康診査受診率	92.2%	90.2%	95.7%	94%			
		特定健康診査受診率	34.7%	36.3%	34.8%	80%			
19 ブックスタート事業	坂出市の地域保健センターにおいて、3～4ヶ月児健診のときに絵本とアドバイス集、読みメンの一などを贈呈する。	利用率	95.7%	96.6%	97.9%	100%	大橋記念図書館	平成16年度より継続して実施していることから、市民へも浸透しており利用率の高まりがみられる。	ブックスタートを一過性のもので終わらせないための図書館行事（ゆりかごおはなし会等）を継続していく。

#### （2）安心して子どもを産み育てられる環境づくり

施策	施策の概要	重要業績評価指標（KPI）					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
		指標名	当初値 (H26)	H27実績	現状値 (H28実績)	目標値 (H31)			
20 子育て支援センターの運営	子育てにおける不安や孤立感を解消し、安心して子どもを産み育てられるよう、多様かつ総合的な子育て支援の環境づくりを行うものである。	地域子育て支援拠点事業利用者数 (人/年)	-	-	8,695人	6,000人	こども課	平成28年4月の子育て支援センターの開所以来、認知度も徐々に高くなってきており、初年度の利用者数は当初の想定を超え、地域における子育て支援の拠点としての機能を果たすことができている。	平成29年度からの一時預かり事業の開始により、予定していたすべての事業を実施することができるようになったが、今後、利用者等からの意見や要望からニーズを把握し、できうる限り運営に反映させ、子育て支援の拠点として継続的な役割を果たしていく。
		利用者支援事業利用者数 (人/年)	-	-	378人	100人			

### (3) 未来を拓く力をはぐくむづくり

施策	施策の概要	重要業績評価指標 (KPI)					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
		指標名	当初値 (H26)	H27実績	現状値 (H28実績)	目標値 (H31)				
21	算数・数学オリンピック	小・中学生が学校で学習する基礎的な内容の習得の上に立って、学習内容を少し発展させた内容の問題に挑戦することを通して、算数・数学を深く考える楽しさ、工夫して解く喜びを味わい、主体的に学ぼうとする児童生徒を育成する。	参加者数 (人/年)	186人	222人	210人	230人	学校教育課	平成27年度より宇多津町からの参加があり、参加地域の拡大や児童生徒のリピーターも増えていることから、参加者が少しずつ増加している。 また、参加市町(坂出市、まんのう町、多度津町、琴平町、宇多津町)において、校長会などで各小中学校に周知したり、チラシやポスターの配布など、宣伝活動も実施していることが参加者増加の理由の一つとも考えられる。	問題作成に係る負担が年々増加しており、新たなオリジナル問題の作成が困難になりつつある。 また、参加地域の拡大(平成29年度から綾川町が参加)やリピーター以外の新たな参加者が増えるように、小中学校をはじめとした広報活動を行っていくことが重要である。
22	図書館出前授業	大橋記念図書館において多様なニーズに的確に対応しながら、地域に関する記録や課題の解決に役立つ知の源となる幅広い図書資料の収集に努めるとともに、図書資料を主体とした各種イベントを実施しながら、地域に出向いて読書活動推進に務める。	参加者数 (人/年)	235人	262人	944人	300人	大橋記念図書館	小・中学校を対象とした出前授業を複数回行ったため参加人数の大幅な増加がみられた。	今後も小・中学校を対象とした出前授業を企画し、参加者の確保に努める。 市民のニーズに沿った講師の選定、講演内容を検討していく。
23	カヌーのまちさかいで推進事業	国内有数の府中湖カヌー競技場を全国に発信し、施設利用者の促進による生涯スポーツの推進および本市の活性化やにぎわい創出、また、県外選手との交流によるカヌー競技の普及、競技力の向上を図る。	カヌー研修センターの利用者数 (人/年)	11,884人	12,922人	15,179人	13,000人	生涯学習課	地方創生先行型交付金を活用してカヌー競技用エルゴマシンを設置するなど、施設の充実を図ったことが、利用者数の拡大に繋がっている。 平成28年度は、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致等に向け、地方創生推進交付金を活用した「カヌーのまち さかいで推進事業」として、カヌー艇を6艇購入した。	トレーニングセンターの整備、カヌー研修センターの改修を実施することにより、パラカヌーを含めた競技の普及、競技力の向上を図る。 また、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツの振興や参加意識の向上、本市の活性化やにぎわいの創出を目的とし、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に取り組む。

#### (4) 女性や高齢者が活躍できる環境の整備

施策	施策の概要	重要業績評価指標 (KPI)					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
		指標名	当初値 (H26)	H27実績	現状値 (H28実績)	目標値 (H31)			
24 女性の活躍推進事業	女性委員の積極登用など、女性ならではの活動で、個々の個性と能力を十分に発揮できる活躍の場を推進する。	審議会等における女性委員の割合	14.5%	15.5%	16.2%	30%	人権課	目標値には程遠いが、庁内各課へ女性委員の積極的登用を働きかけることで、女性委員が全くいない審議会数の減少等がみられ、数値の増加となった。	今後も継続して、庁内各課へ女性委員の登用状況調査及び積極的登用の協力依頼を行うことで、数値の向上に努める。
		市の係長級以上の女性職員の割合	26.7%	27.6%	30.4%	30%	職員課	目標値である30%には平成28年度で達成した。なお、H29.4.1時点における数値は30.6%となっている。	女性活躍推進法が平成28年4月1日施行となり、今後も能力が高く、実績ある女性を積極的に管理職に登用し、女性管理職の割合30%という数字を維持していく。
		女性消防団員数	21名	28名	30名	30名	消防本部	事業は、計画どおりに遂行できている。 平成28年4月に女性分団として再編したことに伴い、団員の増強を図った。	勤務や教育・介護と両立した女性消防団員の活動の場の拡大や活動内容の充実に向けた取り組みが課題であり、今後活動計画を作成していく。
25 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組	住み慣れた「ふるさと坂出」で生涯を通して自分らしい暮らしができるよう、医療・介護・生活支援等を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を推進する。	認知症サポーター登録者数	1,519人	2,602人	3,062人	5,000人	かいご課	認知症サポーター養成講座の定期開催等受講者の増加を図るも1回あたりの受講者が減少し、増加に繋がっていない。	講座開催について、新規対象の開拓、小・中学校への働きかけの強化を通じて、登録者数の増加を図っていく。
		地域ケア会議の開催回数(累計)	2回	3回	8回	29回		地域ケア会議をほぼ2か月に1回開催し、困難事例から見えた課題の問題解決に向けた資源開発の検討等を行った。	地域ケア会議の体制推進のため、委員(専門員)等を増員し、困難事例に対し、多職種による支援の方向性を検討していく。